
形のない不快な塊

ロースト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

形のない不快な塊

【Nコード】

N1448M

【作者名】

ロースト

【あらすじ】

内容がダークです。思春期の女の子主人公。

吐き気

耐えられない。

堪えられない。

気持ち悪い。

気持ち悪い気持ち悪い気持ち悪い。気持ち悪い・・・。

強烈な吐き気が断続的に襲って来る。

身体が、

支配されそうになる。

意識が、

飛ばされそうになる。

身体がたえられない。

タエラレナイ。

立ってるのも無理なほどで、膝を突き、

腕で体を支えないと倒れてしまいそうなほどの状態。

たまらずうずくまる。

いつそ、今すぐ吐いたほうが気分が良くなるだろう。

それでも、実行する気になれない。

そこまでの気力がない。

でも、それ以上に酷いのは、気が狂って

どうにかなってしまいそうな、
この精神だ。

震える。

小刻みに揺れる。

すぐに歯の根も合わなくなってくる。

絶えずにある生理的な嫌悪感と、

それに伴う涙。

どうにもならない。

事態は何も変わらない。

少しだけ開いた口から、ひゅうつと空気を吸う音と、言葉が聞こえる。

でもその言葉は聞き取れない。

小さく、不明瞭で、

挙句に、その言葉はただの言葉の羅列であり、意味のある言葉をなしていない。

いうなれば、一文字もしくは記号の並びである。

途切れずに流れるソレはしかし、

歌ではない。音。

今起こっているのは崩壊。

精神、自我の崩壊である。

跡形もなく滅びへと道を辿っていく。

過去を、現在を、未来を閉ざしていくメロディーが耳に響き渡っている。

実際にはない音。

自分が自分でなくなる瞬間に近い。

心は軽い。異常なほどに軽い。
からっぽになっているんだな。

精神？自我？だから何だというのだ？

ああ、これで楽になれる。

ああ、幸せが待っている。

ああ、ああ、ああ……

私は——なぜ、こんなことになってしまったのだろう。

私は——なぜ、生きていたのだろう。

私は——どうなってしまったんだろう。

私は——……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1448m/>

形のない不快な塊

2011年2月3日07時44分発行